

富山県立志貴野高等学校

シラバス

(必履修科目)

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国語	国語総合	定 (昼・夜)	通年(4)	必(普) 選必(情ビ・生 文・国際)
受講の条件		使用教科書・教材		
・1年次の履修が望ましいです。		・新編 国語総合(大修館書店) ・プリント		
科目の目標と概要				
国語を適切に表現し的確に理解する能力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 ・日本語を適切に表現し、的確に理解する能力を身に付けることをめざします。		【前期】 ・現代文 さびしんぼうだった青春時代 大林 宣彦 記念写真 赤川 次郎 こころが生まれた惑星 NHK取材班 羅生門 芥川龍之介 手紙に関する十二条 轡田 隆史 ・古文 児のそら寝〔宇治拾遺物語〕 徒然草〔公世の二位のせうとに 他〕 伊勢物語〔芥川・筒井筒〕 平家物語〔木曾の最期〕 ほか		
【後期】 ・日本語を適切に表現し、的確に理解することにより、考える力と言語感覚の向上をめざします。		【後期】 ・現代文 青春の詩歌〔アンソロジーを作ろう〕 水の東西 山崎 正和 ・漢文 格言 故事成語 唐詩〔春暁・江雪・山行など〕 孔子のことば ほか		
受講者へのメッセージ				
・教科書を中心にプリント、資料等を用いて授業を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
・特になし。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国語	国語表現 I	定 (昼)	昼・前期(2) 後期(2)	選必 (情ビ・生文) 選(普)
受講の条件		使用教科書・教材		
・1年次の受講が望ましい。		・国語表現 I (京都書房)		
科目の目標と概要				
文章を理解する能力や国語での確かつ効果的に表現する能力を伸ばし、伝え合う力を高め、進んで表現する。実践的な文章の表現方法を工夫する。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや意見を相手に正確に伝えるために、目的や場に応じた言語表現を工夫することができる能力を身につける。 ・相手の意図を正確に理解するための言語感覚の向上を目指し、ことばに対する理解力や思考力を伸ばす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」と「聞くこと」 ・漢字、語句、慣用句の読み書き ・文の整え方 (文の長さ、文の成分の関係、助詞・助動詞の使い方、文章の構成 ほか) ・文章の推敲 ・決まった型のある文章の書き方 (手紙、はがきなどの通信文、報告書、レポートなどの記録文 ほか) ・文章の要約 (新聞記事、説明文、論説文 ほか) ・テーマに沿った意見文の書き方、発表の仕方 		
受講者へのメッセージ				
・教科書に基づいたプリント等も利用して進めていきます。そしていろいろな課題に触れながら授業を進めていきます。				
実習材料費など		留意事項など		
・特になし。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国語	国語表現 I	通信 (昼・夜)	昼・前期(2) 夜・前期(2)	選必(情ビ・生 文・国際) 選(普)
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし。		・国語表現 I (京都書房)		
科目の目標と概要				
文章を理解する能力や国語での確かつ効果的に表現する能力を伸ばし、伝え合う力を高め、進んで表現する。実践的な文章の表現方法を工夫する。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや意見を相手に正確に伝えるために、目的や場に応じた言語表現を工夫することができる能力を身につける。 ・相手の意図を正確に理解するための言語感覚の向上を目指し、ことばに対する理解力や思考力を伸ばす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」と「聞くこと」 ・漢字、語句、慣用句の読み書き ・文の整え方 (文の長さ、文の成分の関係、助詞・助動詞の使い方、文章の構成 ほか) ・文章の推敲 ・決まった型のある文章の書き方 (手紙、はがきなどの通信文、報告書、レポートなどの記録文 ほか) ・文章の要約 (新聞記事、説明文、論説文 ほか) ・テーマに沿った意見文の書き方、発表の仕方 		
受講者へのメッセージ				
・教科書に基づいたプリント等も利用して進めていきます。そしていろいろな課題に触れながら授業を進めていきます。				
実習材料費など		留意事項など		
・特になし。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
地理歴史	世界史A	定(昼)	前期(2)／後期(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校世界史A (第一学習社) ・プリントなど 		
科 目 の 目 標 と 概 要				
<p>近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前・後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類の歩みを知る中で、歴史への関心を高めて歴史的な見方や考え方を身につける。 ・19世紀以降の世界を学ぶことにより、近代・現代の世界がどのような過程を経て成立してきたかを学ぶ。 ・第2次世界大戦後の世界について国際情勢と現代の諸問題を関連付けながら学習する。 		<p>【前・後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の世界の成立と発展 ・一体化に向かう世界 <ul style="list-style-type: none"> 大航海時代の世界 アジア諸帝国の政治と社会 ヨーロッパ主権国家体制の成立 ・19世紀世界の形成と展開 <ul style="list-style-type: none"> アメリカとフランスの革命 産業革命 ヨーロッパ市民社会の発展 アメリカ合衆国の膨張 アジア諸国とヨーロッパの進出 帝国主義と世界の変容 ・現代の世界と日本 <ul style="list-style-type: none"> 急変する人類社会 第一次世界大戦と民族主義の展開 ファシズムの台頭と第二次世界大戦 米ソ冷戦とアジア・アフリカ 地球社会への歩みと日本 地域紛争と国際社会 科学技術と現代文明 		
受 講 者 へ の メ ッ セ ー ジ				
<p>・人物名や年号などを覚えるだけが歴史ではありません。今起こっている問題を考えていくのが歴史です。現代社会に対して幅広い興味を持って取り組んでください。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
地理歴史	世界史A	通信 (昼)	前期(2)／後期(2)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校世界史A (第一学習社) ・プリントなど 		
科目の目標と概要				
<p>近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【1～6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類の歩みを知る中で、歴史への関心を高めて歴史的な見方や考え方を身につける。 ・19世紀以降の世界を学ぶことにより、近代・現代の世界がどのような過程を経て成立してきたかを学ぶ。 ・第2次世界大戦後の世界について国際情勢と現代の諸問題を関連付けながら学習する。 		<p>【1～6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①東アジア世界、南アジア世界、イスラーム世界、ヨーロッパ世界 ②ユーラシアの交流圏、大航海時代の世界、アジア諸帝国の政治と社会 ③ヨーロッパ主権国家体制の成立、アメリカとフランスの革命、産業革命、 ④ヨーロッパ市民社会の発展、アメリカ合衆国の膨張 アジア諸国とヨーロッパの進出、帝国主義と世界の変容、急変する人類社会 ⑤第一次世界大戦と民族主義の展開 ファシズムの台頭と第二次世界大戦 ⑥米ソ冷戦とアジア・アフリカ 地球社会への歩みと日本、地域紛争と国際社会 科学技術と現代文明 		
受講者へのメッセージ				
<p>・年号を覚えるのが歴史ではありません。今起こっている問題を考えていくのが歴史です。現代社会に対して幅広い興味を持って取り組んでください。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
地理歴史	世界史B	定(昼)	通年(4)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・新選世界史B(東京書籍) ・プリント 		
科目の目標と概要				
世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア・地中海、南アジア、東アジア・内陸アジアの諸地域に、それぞれの自然に対応して独自の世界が形成されたことを学ぶ。 ・イスラム世界とヨーロッパ世界が形成されていく過程を概観する。 【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代を契機に諸地域世界の交流が地球規模へと拡大し、ヨーロッパの進出により世界の構造的な一体化が進展し、各地で社会の変容が促されたことを学ぶ。 ・第一次世界大戦から現在に至る歴史的過程を概観し、20世紀の歴史の特質を考察し、未来を展望する。 		【前期】 <ul style="list-style-type: none"> ・文明と地域世界の形成 ・西アジア、地中海世界の形成・南アジア世界の形成 ・東アジア、内陸アジア世界 ・ユーラシアの交流と再編 ・イスラム世界の形成 ・ヨーロッパ世界の形成と変動 ・内陸アジア世界と諸地域世界 【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域世界の結合と変容 ・アジア諸地域世界の繁栄と成熟 ・ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ・ヨーロッパ・アメリカ諸国の発展 ・世界市場の形成とアジア諸国 ・世界の分割 ・地球世界の形成 ・二つの世界大戦と世界 ・戦後世界の形成と変容 ・21世紀の課題 		
受講者へのメッセージ				
・人名や年号を覚えることだけが歴史ではありません。今起きている問題を考えていくのが歴史です。現代社会に対しても幅広い興味をもって取り組んでください。				
実習材料費など		留意事項など		
・なし		・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期（単位数）	必選別
地理歴史	日本史A	定（昼）	前期(2)／後期(2)	選必
		定（夜）	通年（2）	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・高校日本史A 新訂板（実教出版） ・プリント 		
科目の目標と概要				
<p>近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などに関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史についての基礎的な知識を図る。歴史的な見方や考え方を身につける。 ・近代、現代を国際情勢と関連付けて、学習する。 		【前期】【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国の誕生 異国船の接近と幕藩体制の動揺 尊王攘夷から倒幕へ 明治維新と新政府の成立 大日本帝国憲法の制定 日露戦争 ・大日本帝国の展開 朝鮮の民主化 大正デモクラシー 第一次世界大戦 普通選挙法と治安維持法 満州事変と「満州国」 アジア太平洋戦争 日本の敗戦 ・日本国憲法と現代の世界 戦後世界と日本 日本国憲法と民主教育 サンフランシスコ平和条約 新日米安全保障条約 ヴェトナム戦争と沖縄 経済大国と国民生活 21世紀の世界と日本 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中心に学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
地理歴史	日本史A	通信 (昼)	前期(2)/後期(2)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・高校日本史A 新訂板 (実教出版) ・プリント 		
科目の目標と概要				
<p>近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を,世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などに関連付けて考察させることによって,歴史的思考力を培い,国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【1～6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史についての基礎的な知識を図る。歴史的な見方や考え方を身につける。 ・近代、現代を国際情勢と関連付けて、学習する。 		<p>【1～6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①明治維新と新政府の成立 ②大日本帝国憲法の制定 ③大正デモクラシーと第1次世界大戦 ④太平洋戦争 ⑤戦後世界と日本 ⑥現代の日本と世界 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中心に学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期（単位数）	必選別
地理歴史	日本史B	定（昼）	通年（4）	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
2，3年次生受講が望ましい		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校日本史B改訂版（清水書院） ・プリント 		
科目の目標と概要				
我が国の歴史の展開を，世界的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって，歴史的考察力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史についての基礎的な知識を図る。歴史的な見方や考え方を身につける。 ・前期は原始、古代、中世、近世を扱う。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代、現代を国際情勢と関連付けて、学習する。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化のあけぼの ・ 古代国家の形成と東アジア ・ 古代国家の推移と社会の変化 ・ 武家政権の成立と鎌倉文化 ・ 室町文化と北山文化 ・ 織豊政権と桃山文化 ・ 幕藩体制の成立と鎖国 ・ 幕藩体制の展開と元禄文化 ・ 幕藩体制の動揺と化政文化 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開国と明治維新 ・ 立憲国家の成立と国際関係 ・ 近代産業の発展と国民生活 ・ 第一次世界大戦と日本の経済 ・ 政党政治の発展と大衆文化 ・ 軍国日本の形成と第二次世界大戦 ・ 戦後日本の国家再編と国民生活 ・ 国際社会の動向と高度経済成長 ・ 激動する世界と日本 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントを中心に学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・ なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
地理歴史	日本史B	通信(夜)	通年(4)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校日本史B 改訂版(清水書院) ・プリント 		
科目の目標と概要				
我が国の歴史の展開を、世界的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的考察力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史についての基礎的な知識を図る。歴史的な見方や考え方を身につける。 ・前期は原始、古代、中世、近世を扱う。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代、現代を国際情勢と関連付けて、学習する。 		<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本文化のあけぼの～古代国家の形成と東アジア ②古代国家の推移と社会の変化 ③武家政権の成立と鎌倉文化 ④室町文化と北山文化 ⑤織豊政権と桃山文化 ⑥幕藩体制の成立と鎖国～幕藩体制の展開と元禄文化 <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①幕藩体制の動揺と化政文化～開国と明治維新 ②立憲国家の成立と国際関係～ 近代産業の発展と国民生活 ③第一次世界大戦と日本の経済～ 政党政治の発展と大衆文化 ④軍国日本の形成と第二次世界大戦 ⑤戦後日本の国家再編と国民生活 ⑥国際社会の動向と高度経済成長～ 激動する世界と日本 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中心に学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
地理歴史	地理A	定 (昼)	前期 (2) 後期 (2)	選必
		定 (夜)	通年 (2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校現代地理A (清水書院) ・ 地図帳 (二宮書店) 		
科目の目標と概要				
現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察させることによって、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人として自覚と資質を養います。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀に生きる私たちを取り巻く問題を考える上で必要な基礎的な知識を身につけるとともに、地球規模での人類のあり方を学ぶ。 ・ 現代世界に起こっている様々な課題とどう向き合うかを地域性という視点から考え私たち一人ひとりがどう生きていくかを考える視点を養う。 		【前期】【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の特色と地理的技能 <ul style="list-style-type: none"> 球面上の世界と地域構成 結びつく現代世界 多様さを増す人間行動と現代世界 身近な地域の国際化と進展 など。 ・ 地域性をふまえてとらえる現代世界の課題 <ul style="list-style-type: none"> 諸地域の生活・文化と環境 近隣諸国の生活・文化と日本 諸地域からみた地球的課題 近隣諸国や日本が取り組む地球的課題と国際協力 など。 		
受講者へのメッセージ				
・ 南北問題、地球環境問題など幅広く考えていきたいと思えます。				
実習材料費など		留意事項など		
・ なし		・ 生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
地理歴史	地理A	通信 (昼)	後期(2)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校現代地理A (清水書院) ・ 地図帳 (二宮書店) 		
科目の目標と概要				
現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察させ、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人として自覚と資質を養います。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【1～6回】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀に生きる私たちを取り巻く問題を考える上で必要な基礎的な知識を身につけるとともに、地球規模での人類のあり方を学ぶ。 ・ 現代世界に起こっている様々な課題とどう向き合うかを地域性という視点から考え私たち一人ひとりがどう生きていくか考える視点を養う。 		【1～6回】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の特色と地理的技能 <ul style="list-style-type: none"> 球面上の世界と地域構成 結びつく現代世界 多様さを増す人間行動と現代世界 身近な地域の国際化と進展など。 ・ 地域性をふまえてとらえる現代世界の課題 <ul style="list-style-type: none"> 諸地域の生活・文化と環境 近隣諸国の生活・文化と日本 諸地域からみた地球的課題 近隣諸国や日本が取り組む地球的課題と国際協力など。 		
受講者へのメッセージ				
・ 南北問題、地球環境問題など幅広く考えていきたいと思えます。				
実習材料費など		留意事項など		
・ なし		・ 生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
地理歴史	地理B	定(昼)	通年(4)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校新地理B (帝国書院) ・ 地歴高等地図 (帝国書院) 		
科目の目標と概要				
現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察させることによって、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界が多様な地域から構成されていること、それらの地域が類似性、規則性で幾つかの区分ができることを理解し、現代世界を系統的にとらえる。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の諸課題を考察する。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境、資源、産業、都市・村落、生活文化を大観する。 ・ 市町村規模、国家規模、州・大陸規模の地域を地誌的にとらえる。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家間の結びつきの現状と課題を考察する。 ・ 近隣諸国の生活、文化を追求する。 ・ 環境、エネルギー、食料、人口、居住、都市問題民族、領土問題などをいくつかの地域の実例をふまえて追求し、その特殊性や類似性を考察する。 		
受講者へのメッセージ				
・ プリントを中心に学習を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
・ なし		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
地理歴史	地理B	通信(夜)	通年(4)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校新地理B(帝国書院) ・ 地歴高等地図(帝国書院) 		
科目の目標と概要				
<p>自然環境, 産業, 生活文化に関する地域性について世界的視野から考察し, 現代世界を系統地理的にとらえる視点や方法を身に付けさせ, 現代世界の諸課題について, 地理的な見方や考え方を養います。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【1～6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界が多様な地域から構成されていること, それらの地域が類似性, 規則性で幾つかの区分ができることを理解し, 現代世界を系統的にとらえる。 <p>【7～12回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の諸課題を考察する。 		<p>【1～6回】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然環境と生活 ② 資源と産業 ③ 生活と文化 ④ 市町村規模の地域の調査 ⑤ 国家的規模の地域の調査 ⑥ 州・大陸規模の地域の調査 <p>【7～12回】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① グローバルに結びつく現代世界 ② 地図でとらえる現代社会 ③ 人口・食糧問題 ④ 都市・居住問題 ⑤ 環境・エネルギー問題 ⑥ 民族・領土問題 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントを中心に学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・ なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や行事の都合, 担当者の出張等の都合により, 進度において変更修正がある場合がある。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
公民	現代社会	定(昼)	前期(2)/後期(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会」(東京書籍) ・プリントなど 		
科目の目標と概要				
人間の尊厳と科学的な精神に基づき、広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】【後期】 (夜間制【前期】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸課題について多角的に考え追究する。 ・自分たちが住む社会がどのような特徴を持つものであるか理解するとともに、現代社会において、青年期をどのように生きるべきか考える。 ・現代社会における経済の特徴を、私たちの生活との関わりの中で理解する。 <p>(夜間制【後期】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と日本の憲法や政治との関わりについて理解する。 ・国際社会が抱える様々な問題を理解することで、国際社会における日本の役割や日本人としての生き方について考える。 		<p>【前期】【後期】(夜間制【前期】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代に生きるわたしたちの課題 地球環境問題など ・現代の社会生活と青年 現代社会の特質とわたしたちの生活 現代社会と青年の生き方 よりよく生きることを求めて ・現代の経済と国民福祉 経済のしくみ 政府の経済的役割 変化する日本経済 豊かな生活の実現 <p>(夜間制【後期】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と民主政治 民主政治とは 日本国憲法と基本的人権 国会・内閣・裁判所 政治参加と民主政治 ・国際社会と人類の課題 国境をこえる経済 ボーダレス化のなかの地域 国際社会の成立と戦後の動き 国際社会の課題 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題に対して、自分の問題としての意識をもって取り組んでほしい。 ・積極的に自分の考えや意見を発表してほしい。 				
実習材料費など		留意事項など		
なし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
公民	現代社会	通信(昼)	前期(2)/後期(2)	選必
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会」(東京書籍) ・プリントなど 		
科目の目標と概要				
人間の尊厳と科学的な精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸課題について多角的に考え追究する。 ・自分たちが住む社会がどのような特徴を持つものであるか理解するとともに、現代社会において、青年期をどのように生きるべきか考える。 ・現代社会における経済の特徴を、私たちの生活との関わりの中で理解する。 ・私たちの生活と日本の憲法や政治との関わりについて理解する。 ・国際社会が抱える様々な問題を理解することで、国際社会における日本の役割や日本人としての生き方について考える。 		【前期】【後期】 ①現代に生きるわたしたちの課題 ②現代の社会生活と青年 ③現代の経済と国民福祉－1 ④現代の経済と国民福祉－2 ⑤日本国憲法と民主政治 ⑥国際社会と人類の課題		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題に対して、自分の問題としての意識をもって取り組んでほしい。 ・教科書だけでなく、書物や新聞なども大いに活用して調べて欲しい。 				
実習材料費など		留意事項など		
なし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
公民	政治・経済	定(昼)	前期(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・「高等学校 新政治・経済 改訂版」(清水書院) ・プリントなど 		
科目の目標と概要				
<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 前半 ・民主政治のしくみと現代の民主政治が抱える諸問題について学ぶ。 後半 ・経済のしくみと現代の経済が抱える諸問題について学ぶ。		【前期】【後期】 前半 ・現代の政治 民主政治の基本原理 日本国憲法と民主政治 日本国憲法と政治機構 現代の日本政治 現代の国際政治 日本の平和主義と国際平和 後半 ・現代の経済 経済社会と経済体制 現代経済のしくみ 現代の日本経済と福祉の向上 現代の国際経済 ・現代政治・経済の諸課題 現代日本の諸課題 国際社会の諸課題		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治分野も経済分野も、自分の問題としての意識をもって取り組んでほしい。 ・ 積極的に自分の考えや意見を発表してほしい。 				
実習材料費など		留意事項など		
なし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
公民	倫理	定(昼)	後期(2)	選必
		定(夜)	後期(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・「倫理」(東京書籍) ・プリントなど 		
科目の目標と概要				
<p>・人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の位置づけや特徴を確認し、青年期の課題について考える。 ・哲学、宗教、芸術などの営みが人生において持つ意義を、先人の歩んだ道のをたどりつつ学び、人間としての自覚を深める。 ・日本の長い歴史の中で受け継がれてきた独自のものの考え方や感じ方の特徴を見つめなおし、国際社会に生きる自覚を形成する。 ・現代に生きるわたしたちのかかえる問題の根源を探り、未来を切り開く指針を明らかにする。 		<p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題と自己形成 青年期の意義 青年期の課題と生き方 ・人間としての自覚 哲学と人間 宗教と人間 芸術と人間 ・国際社会に生きる日本人の自覚 日本人の精神的風土 外来思想と日本の伝統思想 西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の自覚 ・現代を生きる人間の倫理 人間の尊厳 民主社会の倫理 新たな人間像の模索 自然や科学技術と人間のかかわり 民主社会の成熟のために ・現代の課題を考える 生命・環境倫理、家族、情報社会、グローバル化など 		
受講者へのメッセージ				
<p>・倫理は人生を考える上で非常に大きな知見を与えてくれます。教科書に書かれている様々な事柄を自分の問題としてとらえ、積極的な授業の参加と発言を期待します。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
なし		<p>生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。</p>		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
数学	数学 I	定(昼)	全(4)	必
		定(夜)	全(4)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・1年次の受講が望ましい		・新数学 I (東京書籍)		
科目の目標と概要				
数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それをを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数と式 <ul style="list-style-type: none"> 整式 実数 方程式と不等式 集合と論証 データの分析 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数 <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とそのグラフ 2次関数の値の変化 三角比 <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比 三角比の応用 		
受講者へのメッセージ				
・教科書の内容に基づいて学習を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
・特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	理科総合A	定(昼)	前期(2)・後期(2)	選択必履修
		定(夜)	通年(2)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
2年次生以降のみ受講可能		<ul style="list-style-type: none"> ・新編 理科総合A (東京書籍) ・プリントほか 		
科目の目標と概要				
自然界を構成する物質とその変化について学習し、基本的なしくみや成り立ちを理解します。また、私たちの生活に深く関わる資源やエネルギーについて科学的に学習します。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の現象について観察・実験などを通して、規則性法則性があることを学ぶとともに、人間生活に関わりの深いエネルギーについて学びます。 ・物質は原子、分子、イオンから成り立ち、それらの粒子が結びつくことにより、身の回りにある様々な性質を持った物質ができることを学びます。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 力と運動、エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・日常に起こる物体の運動 ・速度 ・加速度 ・落体の運動 ・力 ・運動の法則 ・いろいろな運動 ・仕事 ・熱 ・いろいろなエネルギー ○ 物質のなりたち <ul style="list-style-type: none"> ・物質とは何か ・純物質と混合物 ・単体と化合物 ・元素 ・同素体 ・自然界を作る元素の分布 ・成分元素の分析(炎色反応、沈殿反応、他) 		
受講者へのメッセージ				
実験・観察を多く取り入れ、自然現象について考察していきます。自ら学び、考える姿勢が重要です。				
実習材料費など		留意事項など		
		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	理科総合B	定(昼)	前期(2) 後期(2)	選択必履修
		定(夜)	通年(2)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
2年次生以降のみ受講可能		新版理科総合B(実教出版) プリント		
科目の目標と概要				
<p>自然の事物・現象に関する観察・実験を通して、生命と地球の移り変わり、多様な生物と自然のつりあい、人間活動と地球環境の変化に関する基本的な事物・現象を理解すると共に自然に対する総合的な見方や考え方を養う。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事象の中に共通性を見つけ、共通性を持ちながらも多様な姿をもつ自然を理解する。 ・地球の誕生から現在までの地球環境の変化や生物のかかわりを学習し、基本的なことから理解しながら、生命や自然環境と私たちの生活について考える。 		<p>【前期】【後期】【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のみかた 探究のしかた ・第1章 地球の移りかわり 惑星としての地球 地球の変動 ・第2章 地表の姿と大気 多様な景観 大気と水の循環 ・第3章 生物の移りかわり 生物の変遷 遺伝の規則性 ・第4章 生物と環境 生物の多様性 生物と環境とのかかわり ・第5章 人間活動と地球環境の変化 人間と自然の関係 人間と自然の調和 		
受講者へのメッセージ				
地球の環境の変化や生物の変遷についてはDVD等の資料映像を見ながら授業を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	科学と人間生活	定(昼)	前期(2)・後期(2)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
1年次生のみ受講可能		<ul style="list-style-type: none"> ・科学と人間生活(啓林館) ・プリントほか 		
科目の目標と概要				
<p>科学が我々の生活にどのように関わっているかを、身近な事象を取り上げ、様々な視点から考察し、理解を深める。特に、光をテーマとし、物理・化学・生物・地学の各分野から総合的に学習する。</p>				
科目のねらい	おもな学習内容			
<p>生物と光の関わりについて、実験などを通して、幅広い観点から学習します。</p> <p>我々の生活に係わる様々な物質がどんな材料から出来ているのか、身近な例を取り上げて学習します。</p> <p>光の様々な性質と正体、その利用について、実験などを通して学習し、理解します。</p> <p>我々が暮らす太陽系について学び、天体の運行と人間生活の関わりについて、観察などを通して学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物と光 <ul style="list-style-type: none"> ・植物の生育と光 ・人の視覚と光 ・動物の行動と光 ○ 材料とその利用 <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 ・セラミックス ○ 光の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> ・光とは何か ・光の性質 ・電磁波とその利用 ○ 身近な天体と太陽系における地球 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の中の地球 ・太陽と人間生活 ・天体の運行と人間生活 			
受講者へのメッセージ				
<p>実験・観察などを通して、身近な現象や物質から宇宙にいたるまでの幅広い分野について科学的に考察します。自ら興味を持って学び、考える姿勢が大切です。</p>				
実習材料費など	留意事項など			
	<p>生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。</p>			

教科名	科目名	授業形態	開講期（単位数）	必選別
理科	物理 I	定（昼）	通年（4）	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
理科総合 A の履修を終えていること		新編 物理 I （東京書籍） プリントほか		
科目の目標と概要				
物理的な事物・現象の観察実験を通して、自然現象を探究していきます。また基本的な概念や原理・法則の理解をとおして、科学的に考える能力と態度を養っていきます。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>(1) 電気の性質と基本的な概念や法則を理解し、日常生活との関りを理解する。</p> <p>(2) 波動現象の基本的な概念や法則を理解し、日常生活と関連付けて考察する。</p> <p>(3) 日常起こる物体の運動やエネルギー現象を観察・実験を通して探究し、基礎的な見方や考え方を身に付ける。</p>		<p>【前・後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気 今日の生活を支える電気の理解。モーターと発電機の関係。交流とはなにか。電波の受信。 ・波動 波の性質について理解する。波の特徴、横波と縦波、波の反射・屈折・回折の現象。 音の反射・屈折・回折の現象。うなり、ドップラー効果 弦の振動と気柱の振動。定常波、共振、共鳴。 光の波の性質。光の反射・屈折。レンズ、複スリット 回折格子、偏光、虹、スペクトル。 ・運動 速度、瞬間の速度、平均の加速度、運動の表し方を学習し、等速直線運動、等加速度直線運動、自由落下運動、鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動を扱う。 いろいろな力、ニュートンの運動の3法則、運動方程式。 力や速度の合成・分解と法物運動、力のモーメント。 ・エネルギー エネルギー、仕事、仕事の原理、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存。 熱とエネルギー、ジュール熱、内部エネルギー、エネルギーの保存。 断熱変化、不可逆変化。 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然現象を楽しく科学していきます。 ・実験・観察を多く取り入れて学習します。 				
実習材料費など		留意事項など		
		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	化学 I	定 (昼)	通年(4)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
理科総合Aの履修を終えていること		高校化学 I 新訂版 (実教出版) プリントほか		
科目の目標と概要				
<p>実験・観察などを通して、実際に見て触れることにより、物質の性質について理解を深めます。また、身近な生活や環境について、科学的な視点から考察します。さらに、学習した内容をレポートやプレゼンテーションにまとめ、発表することにより、自らの考えを具体的にまとめます。</p>				
科目のねらい	おもな学習内容			
<p>物質の基本的な構造や性質を実験・観察を通して学習し理解を深めます。 また私たちの生活や環境などを化学的な観点から考察し、学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の構成 <ul style="list-style-type: none"> ・化学のあゆみと成果 ・混合物とその分離 ・単体と化合物 ○物質の構成粒子 <ul style="list-style-type: none"> ・物質を構成する粒子 ・原子の構造 ・イオン ・分子と金属の成り立ち ・原子量、分子量、物質量 ・物質量と濃度 ・物質の変化と化学反応式 ○物質の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基 ・酸と塩基の価数と強弱 ・水素イオン濃度 ・酸と塩基の反応 ・塩 			
受講者へのメッセージ				
<p>理科総合Aで学んだ化学の基礎的内容をさらに深く学習します。 さらに、それをもとに、発展的な内容を扱っていきます。 実験・観察を多く取り入れて学習します。自ら考えて取り組む姿勢が必要です。</p>				
実習材料費など	留意事項など			
	<p>生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。</p>			

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	生物 I	定 (昼・夜)	通年(4)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
理科総合Bの履修を終えていること		高等学校 改訂 新生物 I (第一学習社) プリント		
科目の目標と概要				
生物や生物現象についての観察, 実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前・後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・生物は機能上及び構造上の単位として細胞から成り立っていること、細胞は体細胞分裂によって増殖し、分化して組織や器官を作ることなどについて理解する。 ・減数分裂のしくみ、生殖細胞の形成、受精及び発生とそのしくみについて理解する。 ・親から子に形質が伝わる遺伝現象には規則性があり、遺伝現象が遺伝子によるはたらしきによること、遺伝子の本体がDNAであることを理解する。 ・動物は外部環境や体内の内部環境の変化を受容するとともに、動物の持つ巧みな制御機構や調節のしくみによって、安定した内部環境を維持していることを理解する。 ・植物の生活が外部の環境条件に影響を受けていることや、植物にみられる反応と調節のしくみを環境と関連させて理解する。 		【前・後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・細胞 細胞の働きと構造・細胞への物質への出入り・細胞の増殖 ・生殖と発生 生物のふえ方・発生とそのしくみ ・遺伝 遺伝の法則・遺伝子と染色体 ・環境と生物の反応 刺激の受容・神経系・動物の反応 ・内部環境と恒常性 内部環境としての体液・恒常性の維持 ・環境と植物の反応 環境と植物・植物の反応と調節 		
受講者へのメッセージ				
・各分野で実験や観察を通して、生物や生命現象の理解を深めます。				
実習材料費など		留意事項など		
		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
理科	地学 I	定(昼)	通年(4)	選択必履修
受講の条件		使用教科書・教材		
理科総合Bの履修を終えていること		新編 地学 I (実教出版) プリントほか		
科目の目標と概要				
地学的な事物・現象の観察実験を通して、自然現象を探究していきます。また基本的な概念や原理・法則の理解をとおして、科学的な自然観を養っていきます。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>(1) 地球の構成 惑星としての地球の特徴及び地球表層や内部に見られる地学的事象を観察、実験などを通して探求し、地球表層や内部を相互に関連させ、地球の歴史の経過の中でとらえることができるようにする。</p> <p>(2) 大気・海洋と宇宙の構成 地球の大気圏及び水圏での現象を観察・実験などを通して探求し、それらが太陽放射エネルギーを原動力としていることを理解する。 また、太陽や恒星の活動を観察、実験などを通して探求し、宇宙の構造や広がりを理解する。</p>		<p>【前・後期】</p> <p>1 地球の概観について ・太陽系の中の宇宙 ・地球の形状と重力、磁場</p> <p>2 地殻と地球内部 ・地殻をつくる物質 ・火山と地震 ・地球の内部構造と運動</p> <p>3 地球の歴史 ・地形・地質 ・地層の形成と地殻変動 ・化石と地質時代</p> <p>4 大気と海洋 ・大気の種類と気象現象 ・大気の運動と気象・気候 ・地球をおおう水</p> <p>5 太陽系と宇宙 ・地球と太陽系 ・恒星としての太陽 ・星と宇宙</p>		
受講者へのメッセージ				
・地震や火山、気象現象など身近な自然現象を科学的に理解するのが地学です。天体の基本的な学習も行います。地学の学習を通して自然への理解を深めていきましょう。				
実習材料費など		留意事項など		
		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
保健体育	体育	定(昼)	通年(2)	必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
年間4単位(卒業見込み年度を除く)		特になし		
科目の目標と概要				
健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】【後期】</p> <p>いろいろな手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、精神的なストレスの解消に役立つようにするなど体と心の安定をはかる。</p> <p>球技において、ボールなどを用い、集団的技能、個人的技能を発揮し、集団対集団、あるいは個人対個人で攻撃と防御を展開し得点を取り合って勝敗を競う。そして、それぞれの運動種目独自のルールによって展開されるゲームを技能の段階に応じて作戦を立てて勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう。</p>		<p>【前期】【後期】</p> <p>○体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動 <p>○球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・テニス <p>○ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス ・エアロビクス <p>○サーキットトレーニング</p> <p>○新体力テスト</p>		
受講者へのメッセージ				
体力は日常生活を送る上で重要な役割を果たしています。体力を高めるためには、運動することが必要です。しかし、ただ運動すれば良いというわけではありません。どうすれば体力が高まるか学んでいきましょう。				
実習材料費など		留意事項など		
トレーニングウェアを着用して行います。ピアス、ネックレス等のアクセサリ一類は全てはずし授業に参加することになります。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
保健体育	保健	定(昼)	前期・後期(各2)	必
		定(夜)	後期(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		現代保健体育(大修館)		
科目の目標と概要				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		【前期】【後期】 1. 現代社会と健康 私たちの健康のすがた、健康のとらえ方、さまざまな保健活動や対策、生活習慣病と日常の生活行動、喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康、医薬品と健康、感染症とその予防、エイズとその予防、健康にかかわる意思決定、行動選択、意思決定・行動選択に必要なもの欲求と適応規制、心身の相関とストレス、ストレスの対処、自己実現、交通事故の現状と要因、交通社会における運転者の素質と責任、安全な交通社会づくり、応急手当の意義とその基本、心配蘇生法、日常的な応急手当 2. 生涯を通じる健康 思春期と健康、性意識と性行動の選択、結婚生活と健康、妊娠出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶、加齢と健康、高齢者のための社会的とりくみ、保険制度と保健サービスの活用、医療制度と医療費、医療機関と医療サービスの活用 3. 社会生活と健康 大気汚染と健康、水質汚濁と健康、土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動のしくみと働き、食品衛生活動のしくみと働き、食品と環境の保健と私たち、働くことと健康、労働災害・職業病と健康 健康的な職業生活		
受講者へのメッセージ				
身近なことや時事問題とリンクさせ、プリントやDVDなどを活用して、分かりやすく進めていこうと考えています。				
実習材料費など		留意事項など		
特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
保健体育	保健	通(昼)	前期・後期(各2)	必
		通(夜)	前期(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
特になし		現代保健体育(大修館)		
科目の目標と概要				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【1～6回】</p> <p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>		<p>【1～6回】</p> <p>1. 現代社会と健康 私たちの健康のすがた、健康のとらえ方、さまざまな保健活動や対策、生活習慣病と日常の生活行動、喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康、医薬品と健康、感染症とその予防、エイズとその予防、健康にかかわる意思決定、行動選択、意思決定・行動選択に必要なもの欲求と適応規制、心身の相関とストレス、ストレスの対処、自己実現、交通事故の現状と要因、交通社会における運転者の素質と責任、安全な交通社会づくり、応急手当の意義とその基本、心配蘇生法、日常的な応急手当</p> <p>2. 生涯を通じる健康 思春期と健康、性意識と性行動の選択、結婚生活と健康、妊娠出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶、加齢と健康、高齢者のための社会的とりくみ、保険制度と保健サービスの活用、医療制度と医療費、医療機関と医療サービスの活用</p> <p>3. 社会生活と健康 大気汚染と健康、水質汚濁と健康、土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動のしくみと働き、食品衛生活動のしくみと働き、食品と環境の保健と私たち、働くことと健康、労働災害・職業病と健康 健康的な職業生活</p>		
受講者へのメッセージ				
面接指導の際に、プリントのポイントなどを説明します。				
実習材料費など		留意事項など		
特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
芸術	音楽Ⅰ	定(昼)	通年(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・意欲を持って取り組める人		・Mousal(教育芸術社) ・自主教材		
科目の目標と概要				
音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 音楽の幅広い活動を通して、基礎的、基本的な音楽的能力を身に付け、生涯にわたり音楽を愛好できるようにする。		【前期】 ・歌唱→発声・校歌・教科書に掲載されている曲 ・器楽→ハンドベル(基本的な奏法とメロディ演奏) →キーボード(基本的な奏法と両手による演奏) →ギター(基本的な奏法とメロディ演奏や伴奏) ・楽典→楽譜のきまり、音符と休符、いろいろな記号や用語 ・リズム→リズムの練習、聞き取り ・鑑賞→様々な音楽の歴史 【後期】 ・歌唱→発声・教科書に掲載されている曲 ・器楽→ハンドベル(メロディ演奏・重奏) →キーボード(両手による演奏・重奏曲) →ギター(メロディ演奏や伴奏・重奏曲) ・楽典→拍子、音階、和音 ・リズム→リズムの練習、聞き取り ・鑑賞→世界の諸民族の音楽 日本の音楽 ・創作→リズムやメロディの創作		
受講者へのメッセージ				
自分の知っている曲、興味のあるジャンル以外にも、いろいろな音楽があります。また、鑑賞するだけでなく、自分で表現することを通して、新たな喜びを感じることができるかもしれません。積極的に取り組みましょう。				
実習材料費など		留意事項など		
特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
芸術	美術 I	定(昼)	通年(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・集中力や行動力を90分間保てる、根気強さを必要とします		高校美術1 (日文)		
科目の目標と概要				
美術の鑑賞と創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てる。発展的な美術の創造活動を通して、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】 幅広いジャンルの美術の鑑賞と創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てる。</p> <p>【後期】 発展的な美術の創造活動を通して、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</p>		<p>【前期】 オリエンテーション 絵画・鑑賞 ・古典絵画の鑑賞 ・模写 ・気持ちをこめて描く(鑑賞) デザイン ・ポスター制作 立体 ・紙粘土を使って作品を作る 絵画 ・表現としての絵画① ・自画像(鑑賞)</p> <p>【後期】 絵画 ・油彩画の制作 ・素描(クロッキー) ・鉛筆デッサン(石膏像を描く) 表現の追求 ・表現としての絵画② ・感情を表現する(鑑賞) ・現代美術(鑑賞) まとめと反省</p>		
受講者へのメッセージ				
各自の見方や感じ方を大事にし、楽しんで作品を制作してくれたら良いと思っています。一生懸命やれば予期せずおもしろい表現が見つかることもあります。日頃から美術やもののデザイン等に関心を持っていると、美的センスはドンドン養われるものです。				
実習材料費など		留意事項など		
・画材代など		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
芸術	書道 I	定(昼)	通年(2)	選必
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・意欲をもって取り組める人		・書 I (教育図書) ・自主教材		
科目の目標と概要				
中学校で学習した「書写」を基本にして、芸術としての「書道」を学びましょう。書道の幅広い活動を通して、「書」を愛好し、創造的な「書表現」を身につけましょう。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 書の美の原理、理法を習得し基礎を身につけましょう。		【前期】 ・用具、用材、姿勢、執筆法、用筆法など ・漢字仮名交じりの書の学習 ・楷書の学習 ・行書の学習 ・隷書の学習 ・創作作品の制作		
【後期】 前期で学習した内容をさらに深め、いろいろな書体の学習を通して表現力の向上を図りましょう。		【後期】 ・創作作品の制作 ・仮名の学習 ・篆書の学習 ・ペン字の学習		
受講者へのメッセージ				
・実技中心の授業となります。 ・筆やペンによる表現の楽しさを味わいましょう。				
実習材料費など		留意事項など		
墨・筆・紙などの教材費約3000円が必要です。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
外国語	英語 I	定 (昼夜)	通年(4)	必(普) 選必 (情・生)
受講の条件		使用教科書・教材		
・普通科の生徒は1年次での受講が望ましい。		・Captain English Course I Revised (大修館書店)		
科目の目標と概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりする基礎的な能力を養う。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習したことを確認しながら、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」を含む活動を関連させて学習する。 ・日常的な話題について、聞いたり読んだりして得た情報を使って、自分の考えを英語で話したり書いたりする能力を伸ばす。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字、アルファベットの復習 ・英語の発音 ・辞書の使い方 ・英語の文章の理解 ・英文法の理解 be 動詞、一般動詞、現在進行形、命令文 助動詞、動詞の過去形、不定詞、動名詞 比較表現 ・自己紹介の表現 ・英語の歌 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の文章の理解 ・英文法の理解 現在完了、受け身の文、現在分詞 過去分詞、関係代名詞 ・Eメールの英語表現 		
受講者へのメッセージ				
・外国人指導助手(ALT)とのチーム・ティーチングがあります。				
実習材料費など		留意事項など		
・英和・和英辞典を持参してください。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期（単位数）	必選別
外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ	定(昼)	前期（2）後期（2）	選必 (情・生)
		定(夜)	通年（2）	
受講の条件		使用教科書・教材		
・昼間制普通科以外は1年次での受講が望ましい。		・ExpresswaysⅠ（開隆堂）		
科目の目標と概要				
日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 ・中学校での語彙・文型・文法事項を復習しながら、英語での聞き取りや言い換え、受け答えを練習することによって実践的なコミュニケーションを行うための基礎的な表現の使い方を身に付けます。 ・日常生活や身の回りの題材などについて、自らの考えや意見、要望などをより実際に伝えることができるよう受け答えする練習に取り組み、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指します。		【前期】【後期】 ・挨拶や、人などを紹介する表現 ・許可を求める表現 ・提案を表す表現 ・質問する表現 ・時に関する表現 ・習慣の聞き方と答え方 ・週末の過ごし方の聞き方と答え方 ・誕生日と星座の聞き方と答え方 ・相手の趣味の聞き方と自分の趣味についての話し方 ・食べたいものの聞き方と答え方 ・道順の聞き方と答え方 ・ボランティア活動についての聞き方と答え方 ・電車の乗り降り・乗り換えや所要時間の聞き方と答え方 ・品物の数量の言い方・日本的なものを説明する言い方 ・好きなスポーツの聞き方と答え方 ・時制、人称、Be動詞、一般動詞の使い方などの基礎的な文法		
受講者へのメッセージ				
中学校までに培われる内容とコミュニケーション能力を伸ばし、国際言語としての英語の運用能力獲得を目指しましょう。また、毎回、外国人指導助手（ALT）とのチームティーチングの授業があります。				
実習材料費など		留意事項など		
・英和・和英辞典を持参してください。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
家庭	家庭総合	定(昼)	通年(4)	必 (生)
受講の条件		使用教科書・教材		
生活文化科1年次受講		<ul style="list-style-type: none"> ・「新家庭総合」 -未来をひらく生き方とパートナーシップ- ・ワークシート (実教出版) 		
科目の目標と概要				
人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活について学習し、生活の中の課題を主体的に解決し家庭生活の充実向上を目指します。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・子供・高齢者等のかかわりについて学びながら、自分らしい生き方を体験的・実践的学習を通して考えていきます。 ・私たちの健康の基本である安全な食物をバランスよく食べることについて実験・実習を通して学びます。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服・住まいとのかかわりについて実習を取り入れて学ぶと共に、より良い衣生活の創造・快適な住まいづくりについて考え、新しい生活文化をつくりだしていきます。 ・消費者としての自立を目指し、消費者問題に目を向け、経済計画をたて、商品や生活情報を選択できるようにします。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人とかかわって生きる 自分らしく生きる 家族とかかわって生きる 高齢者とかかわって生きる 社会とかかわって生きる ・生活をつくる 食生活をつくる 人と食物のかかわり 栄養と食品 食品の安全・環境 ・ホームプロジェクト <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣生活をつくる 人と衣服のかかわり 私たちの衣生活 よりよい衣生活を創造する 住生活をつくる 人と住まいのかかわり 快適な住まいづくり・環境 ・生活文化の伝承と創造 ・消費者として自立する 消費行動を考える 経済的に自立する 		
受講者へのメッセージ				
・実験・実習・体験学習等を取り入れ、実生活に役立てる学習を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習費 年間3,000円 (半期受講1,500円) 		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
家庭	家庭基礎	定 (昼夜)	通年(2)	必 (普・情・国)
受講の条件		使用教科書・教材		
早めの受講が望ましい。		新家庭基礎 未来へつなぐパートナーシップ (実教出版)		
科目の目標と概要				
<p>家族や家庭生活、乳幼児や高齢者の生活と福祉などについて総合的に理解し、男女が相互に協力して、家庭を築くことの重要性について認識する。家族の食生活、衣生活及び住生活に必要な基本的な知識と技術を習得する。家庭経済や消費生活に関する基本的な知識を習得し、消費者として責任のある行動がとれるようにする。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族、家庭、福祉などを関連させて総合的にとらえる事ができます。 食生活を、健康で安全に営む基本的な知識と技術を身につけます。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣生活を健康で安全に営む基本的な知識と技術を身につけます。 住生活を健康で安全に営む基本的な知識と技術を身につけます。 現代の消費生活の課題を認識し、消費者として責任を持った行動をできます。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分らしく生きる 自分をみつめる 人と関わって生きる 家族と関わって生きる 子どもと関わって生きる 高齢者と関わって生きる 社会と関わって生きる 食生活をつくる (栄養と食品のかかわり 食品の安全 家族の食事計画と調理実習) <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣生活をつくる 私たちの衣生活 よりよい衣生活を創造する 住生活をつくる 人と住まいのかかわり 住空間の計画 健康や安全に配慮した住空間 消費者として自立する 消費行動を考える (生活情報の収集と消費者の権利 資源と環境) 経済のしくみと、経済設計 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な活動を取り入れ、実生活に役立つ学習を進めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> 実習の材料費 2,000円(半期受講1,000円) 		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
情報	情報A	定(昼)	前期(2)、後期(2)	必 (普・国)
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・ 1年次もしくは、2年次前期の履修が望ましい。		・ 新・情報A(日本文教出版)		
科目の目標と概要				
コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。また、著作権等の内容についても理解させる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 自ら課題を見つけ問題解決するための情報活用能力を身につける。 インターネットなどを利用して情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。また、ルールやマナーについても学習する。 コンピュータの特性や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。		【前期】【後期】 コンピュータやよく利用するソフトウェアについての利用方法を学びます。特に、キーボード操作については特打というソフトを利用してタッチメソッドをマスターします。 その後は、各課題を完成させながらルールやマナーについても学びます。 具体的には、オリジナル名刺作り、三大〇〇、旅行計画などの課題実習を行いながらの学習が中心になります。 定期考査や小テストでは、情報に関する基礎知識やルール、マナーの確認などを中心に実習中に得られた知識について確認したいと思います。		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次もしくは2年次前期などなるべく早い段階で受講してください。 ・ 昼間制の生徒は半期に集中して行います。 ・ 夜間の生徒は1年間を通じて行います。 				
実習材料費など		留意事項など		
・ 特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
商業	情報処理	定	前期(2)	必 (情ビ)
受講の条件		使用教科書・教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次での履修が望ましい 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理21 (実教出版) ・情報処理検定模擬試験問題集3級 		
科目の目標と概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な仕組みや情報処理機器の活用に関する知識と技術を修得し、全商情報処理検定3級の合格を目指す。 ・各種のソフトウェアや情報通信ネットワークなどを利用して、情報を収集・整理して分析・伝達するなど活用に必要な能力と態度を育てる。 				
科目のねらい	おもな学習内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定試験3級の合格を目指します。 ・教科情報の情報Aの代替科目としているため情報Aの内容についても学習します。 ・わかりやすい報告書の作成方法について学びます。 ・適切な意思決定について学びます。 	<p>ビジネスにおける情報の意義と役割について考えます。</p> <p>コンピュータのハードウェア・ソフトウェアについて基本的なことを学びます。</p> <p>EXCELの基本操作を通じて、表計算ソフトウェアの操作方法やグラフ作成レポート操作について学びます。</p> <p>ビジネスに関する計算の計算方法について学びます。</p> <p>大量のデータを操作するために必要な、データベースの活用について学びます。</p> <p>通信ネットワークの役割や仕組みについて学び、セキュリティやモラルについても学びます。</p> <p>様々なデータから情報を取捨選択して報告書にまとめる技法を学びます。</p>			
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・主に、EXCELのソフトウェアを利用し課題を作成しながら学習を進めます。 ・原則として全商情報処理検定3級を受験します。 				
実習材料費など	留意事項など			
<ul style="list-style-type: none"> ・問題集代金 700 円程度 ・全商情報処理検定3級検定試験受験料 1,000 円程度 	<p>生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。</p>			

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
商業	ビジネス基礎	定	前期(2)	必 (情)
受講の条件		使用教科書・教材		
・1年次の履修が望ましい。		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎(実教出版) ・珠算・電卓実務検定模擬試験問題集3級(実教出版) 		
科目の目標と概要				
ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産・流通・消費という経済を支える仕組みと、経済主体としての家計・企業・政府の関係を理解させるとともに企業が行う経済諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について、身近な事例を取り上げて理解させる。 ・経済活動における流通の意義や役割及び経済的特質について、生産から消費に至る役割分担の変化や小売業の業種や業態の変化と関わらせて理解させる。 ・流通活動における売買取引や代金決済の仕組み及び売買計算の方法の基礎的・基本的な内容について理解させる。 		<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 商業の学習ガイダンス <ol style="list-style-type: none"> 1 21世紀を生きる 2 ゆっくり楽しく学ぶ 2 経済生活とビジネス <ol style="list-style-type: none"> 1 経済のしくみとビジネス 2 ビジネスの役割 3 ビジネスの発展 4 ビジネスに対する心がまえ 3 ビジネスと流通 <ol style="list-style-type: none"> 1 経済活動と流通 2 流通活動の特徴 3 流通活動と企業 4 ビジネスの担当者 4 ビジネスと売買取引 <ol style="list-style-type: none"> 1 売買取引と代金決済 2 売買に関する計算 5 外国人のコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中心に学習を進めます。 ・原則として電卓検定3級を受験します。 				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・電卓代金 ・珠算電卓実務検定模擬問題集代金 ・電卓実務検定受験料 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
商業	課題研究 講座名(キャリアガイダンス)	定	前期(2)	必 (情)
受講の条件		使用教科書・教材		
<ul style="list-style-type: none"> 3年次での受講とする。 年間4単位までの受講とする。 		特になし		
科目の目標と概要				
進路先に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。面接ノートの作成や面接指導を通して、進路先受験に対する意識を高める。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 <ul style="list-style-type: none"> 各自の進路に関わる企業や進学先を調査する。また、進路先受験に必要な面接や履歴書書きの指導を実施する。 		【前期】 (1) 進路先の研究 <ul style="list-style-type: none"> 前年度の求人票や進学先から調べる。 進路指導用のビデオを見る。 (2) 面接練習 <ul style="list-style-type: none"> 面接ノートの記入 模擬面接練習 (3) 履歴書指導 <ul style="list-style-type: none"> 履歴書の記入について (4) 作文指導 <ul style="list-style-type: none"> 就職用作文の書き方指導 進学用小論文の書き方指導 (5) 一般常識		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> 面接模擬練習や履歴書書き等を通して、進路実現を図るための意識を高めます。 				
実習材料費など		留意事項など		
特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
商業	課題研究 講座名(調査・研究)	定	後期(2)	必 (情ビ)
受講の条件		使用教科書・教材		
<ul style="list-style-type: none"> 3年次での受講とする。 年間4単位までの受講とする。 		特になし		
科目の目標と概要				
<p>作品制作に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、プレゼンテーションソフトウェアに関する知識と技術の深化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。発表会を通して、各自の意見を発表する。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
【後期】 <ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を設定し、調査・研究を進めていきます。 		【後期】 <p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業の学習分野の内容の中から各自の興味・関心、進路希望などに応じて、自ら課題を設定します。 <p>流通ビジネス分野 国際経済分野 簿記会計分野 経営情報分野</p> <p>レポートの作成及び発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら学び、自ら考え、主体的に判断するなど課題の解決を図る学習をとおして得た結果をレポートとしてまとめ発表します。 		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> 自らの課題を解決していくことで、より専門的な知識や考え方を身に付けることができます。 				
実習材料費など		留意事項など		
特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
家庭	生活産業基礎	定(昼)	通年(2)	必 (生)
受講の条件		使用教科書・教材		
生活文化科1年次に受講		「生活産業基礎」実教出版 ワークシート		
科目の目標と概要				
人々の生活を支えている衣食住、保育、家庭看護・福祉などにかかわる「生活産業」の意義と役割を理解し、生活産業の種類や特徴、関連する職業について学習します。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 1 私たちの生活が、衣食住や家族、保育、家庭看護、福祉などにかかわる産業に支えられていることを理解します。 2 家庭生活を支える生活産業に関連する職業について理解し、関心を高めます。 3 生活産業における各分野のスペシャリストに必要な専門的知識や技術について理解し、実践的な態度を身につけます。 4 専門科目の学習と職業生活のかかわりを理解し、職業資格の取得や将来のスペシャリストを目指した学習プランを考えます。		【前期】 「生活産業基礎」を学ぶに当たって <ul style="list-style-type: none"> ・「生活産業」とは ・職業と産業 社会の変化と生活産業 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とライフスタイルの変化 ・産業構造の変化と生活産業の発展 生活産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> 食生活関連分野の産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変化と生活産業のかかわり ・食生活関連産業と職業 住生活関連分野の産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> ・住生活の変化と生活産業のかかわり ・住生活関連産業と職業 ・住生活関連産業にかかわる資格 【後期】 生活産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> 衣生活関連分野の産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の変化と生活産業 ・衣生活関連産業と職業 ・衣生活関連産業にかかわる資格 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等の社会の変化とヒューマンサービス ・ヒューマンサービス関連分野の職業・資格 職業生活と自己実現		
受講者へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・「生活産業基礎」は生活文化科で学んでいく上でのベースになる科目であり、他の専門科目との関連が深い科目です。 ・生活産業現場等の見学や聞き取り調査などの具体的な事例を通して理解を深めます。 ・生活文化科で学ぶ意義を考えながら授業に臨んで下さい。 				
実習材料費など		留意事項など		
・実習費1,000円		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期 (単位数)	必選別
家庭	課題研究	定 (昼)	通年 (2)	必 (生)
受講の条件		使用教科書・教材		
・ 3年次の受講が望ましい。		・ ワークシート		
科目の目標と概要				
専門教科家庭の各科目で学習した知識と技術を生かして、課題を設定し、課題の解決を目指して調査・研究を行います。研究の成果をまとめ、発表する機会を設けます。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】 生活文化科「課題研究」の学ぶ意味を理解しながら、課題の研究に取り組み、実践を通して生活の改善・向上を図る能力を身につけます。 研究の成果を工夫してまとめます。</p> <p>【後期】 研究の成果をわかりやすく効果的にまとめ、発表します。</p> <p>フェアウェルパーティーの計画・実施を通して、パーティー料理の献立作成からもてなしの方法までを学びます。</p>		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学科において「課題研究」を学ぶ意味 ・ 課題解決の進め方 ・ 研究課題の設定 ・ 研究の実施計画 ・ 実践活動 ・ 研究のまとめ <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究のまとめ ・ 研究の効果的なプレゼンテーション ・ 研究発表の実施 ・ 研究発表の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ フェアウェルパーティーの計画 ・ 献立作成 ・ 調理方法、調理手順等の計画 ・ 調理実習 (試作による練習) ・ フェアウェルパーティーのまとめ 		
受講者へのメッセージ				
<p>自分の研究課題を設定し、生活文化科で学習した事柄をもとに、課題にそって情報を収集し、研究を進めます。「生活と情報」の授業と連携して、研究の成果をまとめ、プレゼンテーションを行います。</p> <p>生活文化科の総仕上げの科目として、課題に臨んで下さい。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
実習費 1, 0 0 0 円		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正や学習順序の入れ替え、内容の精選を行うこともあります 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
家庭	家庭情報処理	定(昼)	通年(4)	必 (生)
受講の条件		使用教科書・教材		
生活文化科1年次に受講		「家庭情報処理」(実教) 「ワープロ検定問題集」(実教)		
科目の目標と概要				
高度情報通信社会における産業や生活の変化のなかで、コンピュータが果たしている役割や影響について考え、情報モラルやセキュリティ管理の重要性について理解する。生活産業の各分野で、情報及び情報手段を活用する能力と態度を養う。				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度情報処理通信社会における産業や生活の変化と、生活産業におけるコンピュータの役割や利用状況について学習します。 コンピュータによる情報処理手順や、いくつかのアプリケーションソフトウェアの基本操作について、生活産業と関連付けながら身につけます。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> いくつかのアプリケーションソフトウェアの基本操作ができます。 生活産業の情報を実際に収集・処理・発信できます。 コンピュータシステムの活用ができます。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度情報通信社会と生活産業 高度情報通信社会 生活産業とコンピュータ 情報モラルとセキュリティ コンピュータの仕組みと情報処理(1) コンピュータの仕組み コンピュータによる情報処理 ワードプロセッサの活用 表計算ソフトの活用 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータの仕組みと情報処理(2) コンピュータによる情報処理 プレゼンテーションソフトの活用 生活産業におけるコンピュータの活用 情報の収集、処理、発信 コンピュータシステムの活用 		
受講者へのメッセージ				
・座学と実習を組み合わせ、学習を進めます。				
実習材料費など		留意事項など		
問題集、検定受検料(2,000円)		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
英語	総合英語	定(夜)	通年(4)	必 (国)
受講の条件		使用教科書・教材		
・なし		・プリント、その他		
科目の目標と概要				
英語で情報や相手の意向を理解し、情報や考えなどを伝える能力を伸ばすとともに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を復習する。 ・リスニング力を高める。 ・書き取る力を伸ばす。 ・発音を正しくする。 ・読解力をつける。 ・作文する力を伸ばす。 【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・リスニング力を高める。 ・書き取る力を伸ばす。 ・作文する力を伸ばす。 ・読解力をつける。 ・発表力をつける。 ・対話する力をつける。 		【前期】 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着を図る問題演習に取り組みます。 ・さまざまな日常的な場面における英会話やまとまった内容の情報や考えを聞き取り、ポイントを押さえて理解する練習をします。 ・リスニング練習、書き取り練習、発音練習を効果的に組み合わせで行います。 ・まとまった英文を読み、英単語や英熟語・文法構造などを押さえながらあらすじをとらえて書き取り、それを作文でまとめる練習をします。 【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな日常的な場面における英会話やまとまった内容の情報や考えを聞いてポイントを書き取り、自分の考えを付け加えて作文する練習を行います。 ・聞き取ったり読み取ったりしたことから、自分の考えなどを作文にまとめ、発表する練習を行います。 ・発表された内容などについてポイントなどを書き取り把握した上で、質疑応答や意見交換、ディスカッションをする練習を行います。 		
受講者へのメッセージ				
中学校まで習った基礎的内容を再確認しながら、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。				
実習材料費など		留意事項など		
・特になし		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合がある。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
英語	異文化理解	定(夜)	通年(2)	必 (国)
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		・プリント、その他		
科目の目標と概要				
<p>・英語を通して、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための能力や態度の基礎を養う。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文法事項の復習。 ・日本文化と英語圏の文化の違いについて学ぶ。 ・英語のゲームや歌に触れ、英語を身近なものに感じる。 ・映画を観て異文化に触れる。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英文を読み、内容を理解することができる。 ・映画を観て異文化に触れる ・興味がある国について調べ、発表することができる。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだことを復習する。 ・日本文化と英語圏の文化の違いについて学ぶ。 ・英語のことわざについて学ぶ。 ・英語を使ったクロスワードパズルやゲーム、歌を聴くなどの活動をする。 ・映画の中で使われる英語を学んだり、文化の違いを理解する。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理や食べ物に対する人々の考え方やその他の国々の有名な建築物、大事件についての英文を読む。 ・興味がある国、行ってみたい国を決め、その国について調べ、まとめる。後期末に受講者それぞれが調べた国について授業で発表する。 ・映画の台詞を研究する。 		
受講者へのメッセージ				
<p>・日本と外国の文化の違いについて学びましょう。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
<p>・なし</p>		<p>生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。</p>		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国際	中国語入門 特別講座(中国語入門)	定(夜)	通年(2)	選必 (国)
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし。		・「話す中国語」 基礎編		
科目の目標と概要				
中国語の基礎を学ぶとともに、中国語に慣れ親しむことをめざす。 ・発音、基礎構文、日常会話などを学習する。 ・中国文化についても学習する。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】【後期】 ・初めての中国語に親しみ、慣れる。 ・次第に話す能力を身につける。 ・短文構成の文章を繰り返し読み、聞き、書いて本文の暗記に全力を傾注する。 ・CDなどで聞く力を養いつつ、授業の中で対話練習もし、中国語の雰囲気慣れる。		【前期】 第1課～第13課 山川静さんと李恵さんのキャンパスでの会話 学部、学年、食べ物や飲み物の好みの尋ね方 住所と電話番号の言い方、家族構成や年齢の言い方 郷里や仕事の尋ね方、家族構成やペットの聞き方 ポイントになる語法 ・声調・母音・軽声、子音、難しい発音 ・SVO、否定形、疑問文、名前の聞き方答え方 ・人称代名詞、述語文、疑問文 ・基本構文、個数、年齢、 【後期】 第14課～第22課 誕生日や血液型の尋ね方と答え方 曜日の言い方とサークル活動についての会話 時刻の言い方と待ち合わせの約束の仕方 日課を尋ねる、アルバイトの話、お金の言い方 ポイントになる語法 ・「有」と「在」、年月日、曜日、週 ・場所、時、時刻、時点、時間 ・方圀詞、「多」前置詞、副詞、場所		
受講者へのメッセージ				
・やさしく大きな声で読み、何度も書いて覚えます。 ・初めての人でも大丈夫です。				
実習材料費など		留意事項など		
・テキスト代金2,625円が必要です。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国際	ハングル入門 講座名(ハングル入門)	定(夜)	通年(2)	選必 (国)
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		・プリント、その他		
科目の目標と概要				
日常生活の身近な話題について、韓国語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 ・ハングル文字を学ぶ。 ・韓国語で挨拶することができる。 ・韓国語での数の数え方を学ぶ。		【前期】 ・韓国語の基本となるハングル文字を、発音練習を中心に覚える。 ・簡単な挨拶(自己紹介など)を練習する。 ・簡単な動詞を覚える。 ・数の数え方など、身の回りのものを韓国語で話す練習をする。		
【後期】 ・短い会話ができる。 ・相手に質問する。 ・簡単な文法事項を学ぶ。		【後期】 ・前期で学んだ文字や動詞を復習する。 ・挨拶の後に続くような簡単な会話文を学ぶ。 ・簡単な文法事項を使って、旅行に役立つような会話を学ぶ。		
受講者へのメッセージ				
・韓国の文化などについても学ぶ機会があるので、言語だけではなく、韓国の文化や習慣について興味がある生徒の受講をお勧めします。				
実習材料費など		留意事項など		
・希望者のみ約¥3,000でテキストを購入することができます。		生徒の実態や行事の都合、担当者の出張等の都合により、進度において変更修正がある場合があります。		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国際	ロシア語入門 特別講座(ロシア語入門)			選必 (国)
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 「まいにちロシア語」 ・プリント 		
科目の目標と概要				
<p>・ロシア語の学習を通して今後ますます交流が活発化していくロシアを理解し、併せて文化や歴史を学びながら国際時代化に対応する教養と態度を養う。</p>				
科目のねらい		おもな学習内容		
<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語のアルファベットを覚える。 ・簡単な会話ができる。 ・文法の初歩を学ぶ。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文法を学ぶ。 		<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語のアルファベットを活字体、筆記体でそれぞれ読み書きできるようにする。 ・名前や職業、住んでいるところなど、自己紹介程度の会話ができる。 ・男性名詞、女性名詞、中性名詞の区別を学び、名詞を含んだ会話ができるようにする。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有代名詞と名詞の複数形を学ぶ。 ・前置格の用法を学ぶ。 ・対格の用法を学ぶ。 ・生格の用法と動詞の命令形を学ぶ。 ・形容詞+名詞の格変化を学ぶ。 ・コミュニケーションゲームをする。 		
受講者へのメッセージ				
<p>・毎年、社会人の方が多く学ばれている講座です。ロシア語の勉強ばかりではなく料理を作ったりDVDを見たりしてロシアの文化も学びます。一緒に楽しく勉強しましょう。</p>				
実習材料費など		留意事項など		
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト代、その他で800円程度。 ・調理実習費など実費500円程度 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や行事、出張等の都合により進度に変更がある場合があります。 		

教科名	科目名	授業形態	開講期(単位数)	必選別
国際	ポルトガル語入門 講座名(ポルトガル語入門)			選必 (国)
		定(夜)	通年(2)	
受講の条件		使用教科書・教材		
・特になし		・NHKテキスト「ポルトガル語入門」 ・プリント、その他		
科目の目標と概要				
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の養成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。				
科目のねらい		おもな学習内容		
【前期】 ・ポルトガル語の基本的なきまりを学ぶ。 ・ポルトガル語の挨拶を理解し使うことができる。 ・基本的な数を表す表現を理解し使うことができる。 【後期】 ・相手の意向を聞き取り簡単な会話ができる。 ・基礎的な語彙や文法事項を理解し正しく使うことができる。		【前期】 ・アルファベット、母音・子音など英語と類似点・相違点のある発音、読み方、書き方を学びます。 ・基本的な挨拶及び自己紹介について練習します。 ・数の表し方や曜日の言い方など身近な表現を練習します。 ・料理など身近な題材を通じてブラジルの文化について学びます。 【後期】 ・簡単な会話のやりとりができるように練習します。 ・前期で学んだ内容を押さえながら、さらに語彙力をつけ基礎的な文法事項をマスターします。 ・日常生活に必要なポルトガル語でのいろいろな表現を練習します。		
受講者へのメッセージ				
英語と違っているところ、似ているところを比べながら整理して勉強することをサポートしています。継続して受講し、家庭学習を併せて行えば、簡単な表現の言い方や聞き取り、読み書きができてわかるようになります。				
実習材料費など		留意事項など		
・テキスト・参考書購入については特別講座講師が授業の中でアドバイスします。 ・ブラジル料理の材料代については実費徴収を行います。		・上記内容は全てではなく、社会人を含めた受講者の学習ニーズに対応し内容を精選或いは発展して行うことがあります。		